第14回日本リーグ(前期)

湧永製薬(男子)
大崎電気(女子)
がリードして折り返す

第14回日本リーグは、6月3日から7月2日までの1ヵ月間、全国各地で多くの観衆を集め熱戦をくり広げた。

男子は、前回のリーグの最終戦で本田技研鈴鹿に逆転優勝をさらわれた湧永製薬が奮起、本田との対戦は引き分けたものの4勝1敗で1歩リードを奪った。前回チャンピオンの本田は、日新に敗れ、大崎とも引き分けて連覇は大変苦しくなった。

一方女子は、V3を目ざす大崎電気がやはり安定した強さを見せ、全勝で折り返した。これを追う2位以下は混戦で、後期では果たしてどこが大崎の連勝を止めるかに興味が持たれる。

男子

◇6月3日
東海市民体育館

大崎電気32 〔15—13 17—10〕 23大同特殊鋼

〔戦評〕前半は、出だし両チームとも固くなり、シュートミスなどの攻撃ミスが続いて8分まで1—1であったが、徐々に大崎が宮下、首藤のロング、中田の速攻、サイドなどを決め、着々と得点を重ねていった。一方大同は、大崎のGK矢内を中心とする固いディフェンスに阻まれて得点できず、15分過ぎには9—1を大差がついてしまった。しかし、その後大同も朝生のサイド上がりのミドルをきっかけにして高村のロングで追い上げ、前半を17—10と大崎の7点リードで終えた。

後半は一進一退の展開で、随所にスカイプレー、ロングシュートと見応えのある試合となった。大崎が全員で得点をあげていたのに対し大同は高村に片寄り、前半の点差を詰めることができなかった。

得	〔大崎〕		〔大同〕	得
0	渡辺	GK	上村	0
0	矢内	GK	秋吉	0
3	松岡	FP	田中	2
3	大和田	FP	内藤	0
0	武田	FP	高村	11
5	首藤	FP	朝生	4
7	中田	FP	畑	0
2	山本	〔審・秋永 熊坂〕	河井	1
3	菅田		梅木	1
2	相馬		横浜	2
7	宮下		佐藤	1
0	魚住		名取	2
32	(2)	PT	(0)	23

◇6月10日(土)
山梨・鐘山スポーツ・センター

湧永製薬26 〔10—14 16—10〕 24大崎電気

〔戦評〕湧永は3—2—1のDFシフト、大崎は5—1のDFシフトを敷き、両チームとも相手を知り尽くした守りだ。前半15分までは湧永が速攻で9—3と大きくリード。大崎は全日本の大砲コンビ宮下、首藤の動きが固い。21分、中田のスカイプレーなどで連続ゴールし反撃するが、湧永の厚いディフェンスを崩せないまま16—10で前半を折り返した。

後半に入ると、大崎は新人・相馬らを投入してゲームの流れを変えようとするが、相手チームの反則退場などのアドバンテージもミ

得	〔湧永〕		〔大崎〕	得
0	徐	GK	渡辺	0
0	井藤	GK	矢内	0
3	酒巻	FP	松岡	1
0	河原	FP	大和田	6
9	玉村	FP	武田	4
0	堀田	FP	首藤	4
0	新井	FP	中田	5
4	中川	〔審・千野 三枝〕	菅田	0
2	長沢		山内	0
0	鎌塚		相馬	0
5	奥田		宮下	4
3	楢原		魚住	0
26		PT		24

スでつぶすなど元気がない。大崎は残り3分から速攻を連発するが、時すでに遅し、気迫に勝る湧永が終始リードを保って逃げ切った。

◇6月10日(土)　四日市市体育館

日新製鋼 24（13—14／11—9）23 本田技研鈴鹿

〔戦評〕本田は田口、粟屋の連続得点で好スタートを切ったが、日新もすぐに追いつき、その後点を取り合って好ゲームを展開した。

前半1点のリードを許した日新は、後半に入ってもよく食い下がって12分には17—17とし、18分には武田が勝ち越し点を入れたが、本田はすぐに田口が決めて追いつく。日新はタイムアップ寸前のペナルティースローを西山が決めて熱戦に終止符を打った。

得	〔本田〕		〔日新〕	得
0	木高	GK	森田	0
0	橋本		宇田川	0
4	真砂	FP	森	0
4	立木		武田	5
3	内藤		西山	7
2	粟屋	（審・岩本・板倉）	高木	3
5	田口		甲斐	2
0	山本		日野	1
5	山村		堀田	1
0	平子		池田	2
0	福村		野中	2
0	梅基		木村	1
23	(2)	PT	(7)	24

◇6月10日(土)　愛知・三好公園総合体育館

大同特殊鋼 25（12—10／13—10）20 三陽商会

〔戦評〕立ち上がり、両チームともパスミス、シュートミスをくり返し、9分過ぎまで3—3とシーソーゲームであった。10分、大同GK秋吉の負傷退場で三陽有利かに見えたが、11分過ぎ大同が速攻で3点を連取、一時6点差をつけたが、三陽も反撃し、2点差で前半を終える。

後半、大同は確実に加点し、15分過ぎには7点差まで開いた。一方三陽は、3～5分過ぎまで得点ができず攻めあぐんだが、大同のミスから連続得点、懸命の反撃を見せたが及ばなかった。

得	〔三陽〕		〔大同〕	得
0	宇田川	GK	上村	0
0	吉田		秋吉	0
7	浜川	FP	田中	8
1	飯島		内藤	0
0	田口		高村	2
0	大坪	（審・秋山・細沢）	朝生	12
5	砂川		畑	0
1	山口		河井	0
1	浜田		梅木	1
1	河村		横浜	0
1	近藤		佐藤	0
3	関		名取	2
20	(5)	PT	(7)	25

◇6月11日(日)　岐阜県民体育館

日新製鋼 27（10—5／17—11）16 三陽商会

〔戦評〕前半、開始から20分まで両チームともにセット攻撃を中心にボールをじっくり回し、ロースコアのゲーム展開となった。日新は、シュートチャンスを三陽GKは宇田川の好守もあって思うように得点できなかった。しかし、20分過ぎになって攻撃力に勝る日新が着実に得点を重ね、前半を10—5として終了。

後半に入っても日新が速攻、セットともに力を発揮し、27—16で圧勝した。

得	〔三陽〕		〔日新〕	得
0	宇田川	GK	谷	0
0	高橋		宇田川	0
5	浜川	FP	森	1
0	飯島		武田	2
0	田口		西山	6
0	大坪	（審・工藤・川合）	高木	2
1	砂川		甲斐	2
3	山口		日野	2
1	浜田		堀田	2
0	河村		池田	2
1	吉原		野中	1
5	関		木村	7
16	(3)	PT	(2)	27

◇6月11日(日)　豊橋市総合体育館

本田技研鈴鹿 25（13—6／12—12）18 大同特殊鋼

〔戦評〕前半は、相手の攻守をうかがう慎重な戦いが続いたが、数少ないチャンスを着実に速攻に結びつけた本田の先行が終始続いた。大同は多彩な攻撃を展開したが、固いディフェンスや地元出身のGK橋本に阻止され、なかばには1点差まで追いついたものの、結局前半で13—6という大差をつけられた。

本田はスターティングメンバー全員得点を達成するなど余裕をもった試合展開で、大同も後半互角の戦いをしたものの及ばなかった。

得	〔大同〕		〔本田〕	得
0	上村	GK	高木	0
0	濱野		橋本	0
2	田中	FP	真砂	2
0	内藤		立木	5
3	高村		尾上	0
4	朝生	（審・八日市・金森）	内藤	4
0	畑		粟屋	6
1	河井		田口	1
2	梅木		山本	2
1	横浜		山村	5
2	佐藤		福村	0
3	名取		梅基	0
18	(3)	PT	(2)	25

◇6月17日(土)　大阪市立中央体育館

湧永製薬 23（10—11／13—6）17 日新製鋼

〔戦評〕両チームとも同じようなセットからの攻めで試合が展開され、15分過ぎまで得点が2点差と開くことなく、シーソーゲームとなった。16分過ぎに日新に退場者が出た時点で2点差となったが、その後日新が逆転、結局1点をリードして前半を終えた。

後半に入って、6分過ぎまでシーソーゲームが続いたが、好試合はそこまで。湧永は早いつぶしか

得	〔日新〕		〔湧永〕	得
0	森田	GK	徐	0
0	宇田川		井藤	0
0	森	FP	酒巻	4
6	武田		河原	4
3	西山		丘村	5
0	高木	（審・井上・島崎）	堀田	1
0	甲斐		新井	0
2	日野		中川	3
3	堀田		長沢	1
0	池田		鎌塚	0
0	野中		奥田	3
3	木村		楢原	2
17	(2)	PT	(0)	23

ら日新のミスを誘い連続5得点。逆に日新は10分間以上も得点することができず、差を広げられてしまった。

◇6月18日(日)　呉市体育館

日新製鋼24〔10－10／14－12〕22大崎電気

〔戦評〕大崎は、立ち上がり首藤、松岡のシュートで先制したが、日新も木村、甲斐で追いつき、一進一退の攻防を展開した。両チームともキーパーの活躍でしまった試合となり、前半を同点で折り返した。

後半も追いつ追われつの試合になったが、20分過ぎから大崎のミスを確実に得点に結びつけた日新が2点差をつけて勝利をものにした。

得	〔大崎〕		〔日新〕	得
0	渡辺	GK	森田	0
0	矢内	GK	宇田川	0
2	松岡	FP	武田	4
4	大和田	FP	西山	7
3	武田	FP	高木	4
7	首藤	FP	甲斐	2
0	菅田	FP	日野	0
0	大野	FP	堀田	0
0	熊谷	FP	藤本	3
3	相馬	FP	池田	1
3	宮下	FP	野中	0
0	魚住	FP	木村	3
22	(2)	PT	(1)	24

（審・松原、武智）

◇6月18日(日)　西宮中央体育館

本田技研鈴鹿34〔16－8／18－11〕19三陽商会

〔戦評〕4名の全日本選手を擁する本田が攻守ともに力の差を見せ、三陽につけ入るスキを与えなかった。

前半から点差が開き過ぎて、本田の選手のシュート力ばかりが印象づけられる試合となった。三陽の選手の試合運びなどに工夫がほしかった。

得	〔三陽〕		〔本田〕	得
0	宇田川	GK	高木	0
0	高橋	GK	橋本	0
4	浜川	FP	真砂	9
4	飯島	FP	立木	6
2	大坪	FP	尾上	1
0	砂川	FP	内藤	3
5	山口	FP	田口	4
2	浜田	FP	平松	3
0	安藤	FP	山村	3
2	河村	FP	平子	3
0	吉原	FP	福村	1
0	関	FP	梅基	1
19	(2)	PT	(3)	34

（審・浜田、馬場）

◇6月18日(日)　岡崎市体育館

湧永製薬27〔13－11／14－10〕21大同特殊鋼

〔戦評〕前半、大同のディフェンスの甘さを指摘するかのように湧永はポスト攻撃で得点を重ねていった。一方大同は、朝生のフェイントからのシュートが冴えを見せ、両者一進一退の攻防が続き、湧永の2点リードで前半を終了した。

後半、立ち上がりよりペースをつかんだ湧永は、昨年度前期の勢いを取り戻し、20分経過したところでスカイプレイを出す余裕を見せ、10点差をつけて勝敗を決定づけた。

得	〔大同〕		〔湧永〕	得
0	上村	GK	徐	0
0	濱野	GK	井藤	0
8	田中	FP	坂巻	6
2	内藤	FP	河原	1
1	高村	FP	玉村	6
6	朝生	FP	堀田	4
0	畑	FP	新井	0
0	河井	FP	中川	2
0	梅木	FP	長沢	1
0	横浜	FP	鎌塚	0
1	佐藤	FP	奥田	2
3	名取	FP	楢原	5
21	(1)	PT	(3)	27

（審・田中、木村）

◇6月24日(土)　茨城・霞ヶ浦文化体育館

大崎電気23〔11－8／12－12〕20三陽商会

〔戦評〕前半立ち上がりから宮下、首藤のコンビネーションと宮下の好ゲームメークにより、大崎が着々と得点を加えて3点をリードして折り返した。

後半はシーソーゲームとなり、特に三陽GK宇田川の好守などで全く互角の展開となったが、前半のリードを守った大崎が逃げ切った。

得	〔三陽〕		〔大崎〕	得
0	宇田川	GK	渡辺	0
0	高橋	GK	矢内	0
3	浜川	FP	松岡	0
0	飯島	FP	大和田	3
0	田口	FP	武田	2
0	大坪	FP	首藤	7
6	砂川	FP	甲斐	0
3	山口	FP	菅田	1
3	浜田	FP	山内	0
0	安藤	FP	相馬	7
3	河村	FP	宮下	3
2	関	FP	魚住	0
20	(2)	PT	(3)	23

（審・矢澤、横瀬）

◇6月25日(日)　広島市東区スポーツセンター

本田技研鈴鹿22〔12－9／10－13〕22湧永製薬

〔戦評〕前半、一進一退の立ち上がりであったが、本田はGKの好守を中心に山村のサイド攻撃で徐徐にリードを奪い、3点差をつけて前半を折り返した。

後半、立ち上がり本田のミスに乗じてすぐに追いついた湧永であったが、固い守りの本田は若手の活躍もあって徐々に引き離す。しかし残り3分、3点をリードした本田は消極的になったのかミスが連続し、終了間際に同点に追いつかれた。

得	〔本田〕		〔湧永〕	得
0	高木	GK	徐	0
0	橋本	GK	井藤	0
0	真砂	FP	酒巻	6
4	立木	FP	河原	6
0	内藤	FP	丘村	6
4	粟屋	FP	堀田	0
3	田口	FP	新井	0
7	平松	FP	中川	0
0	山本	FP	長沢	1
3	山村	FP	奥田	2
0	福村	FP	楢原	1
1	梅基	FP		
22	(3)	PT	(4)	22

（審・赤池、山根）

◇6月24日(土)　宮崎・都城体育文化センター

日新製鋼20〔9－13／11－7〕20大同特殊鋼

〔戦評〕前半、大同が先行した。大同の高村、日新の高木のロングシュートの打ち合いとなった。動

きが今ひとつかみ合わない日新に対し、大同・朝生の今シーズン絶好調の速攻、サイドシュートなどが決まり、前半は13—9と大同が4点をリードした。
　後半に入ってもなかなかリズムに乗れなかった日新だが、それでも大同のミスもあってジリジリと追い上げ、15分に1点差、20分には高木のロングで17—17と追いついた。その後逆に日新が1点をリードして逃げ切るかと思われたが、終了直前、大同の高村が決めて20—20で引き分けた。

〔大同〕	得		〔日新〕	得
上村	0	GK	森田	0
濱野	0	GK	宇田川	0
田中	4	FP	武田	3
内藤	3	FP	西山	4
高村	5	FP	高木	7
朝生	6	FP	甲斐	2
畑	0	FP	日野	1
河井	0	FP	堀田	1
植木	0	FP	藤本	2
横浜	1	FP	池田	0
佐藤	1	FP	野中	0
名取	0	FP	木村	0
(3)	20	PT	(3)	20

〔審・大切通宮〕

◇**7月2日(日)　東京・青山学院記念館**

湧永製薬32〔14—11 18—9〕20三陽商会

〔戦評〕前半立ち上がり、三陽は湧永の固いディフェンスを攻めあぐみ、5—0とリードされる。しかしその後、粘り強いディフェンスからの速攻などで一時は9—9の同点にまで追いついたが、結局前半は14—11と湧永が3点をリードして終了。後半に入ると、湧永は積極的に前に出る攻撃的なディフェンスで三陽につけ入るすきを与えず、速攻などで着々と得点を重ね、32—20で快勝した。

〔三陽〕	得		〔湧永〕	得
宇田川	0	GK	徐	0
吉田	0	GK	井藤	0
濱川	6	FP	酒巻	2
飯島	2	FP	河原	4
田口	0	FP	玉村	7
大坪	0	FP	堀田	4
砂川	2	FP	新井	2
山口	4	FP	中川	3
浜田	2	FP	長沢	2
河村	0	FP	奥田	6
吉原	0	FP	楢原	2
関	4	FP		
(3)	20	PT	(3)	32

〔審・酒井後藤〕

◇**7月2日(日)　福井県営体育館**

本田技研鈴鹿22〔10—12 12—10〕22大崎電気

〔戦評〕前半立ち上がり大崎・大和田が先制、しかし本田もすぐに返して一進一退の展開。本田は15分頃から約10分間攻めあぐみ、大崎が2点をリードして前半を折り返した。
　後半に入って2分過ぎに本田が同点に追いつき、再び一進一退の展開となる。共に決定的リードを奪えず、本田の1点リードを終了30秒前、大崎・甲斐が決めて同点に追いつき試合終了。

〔大崎〕	得		〔本田〕	得
渡辺	0	GK	高木	0
矢内	0	GK	橋本	0
松岡	0	FP	福島	0
大和田	3	FP	立木	10
武田	1	FP	尾上	0
首藤	4	FP	内藤	0
中田	2	FP	粟屋	6
山本	5	FP	田口	0
甲斐	5	FP	山本	0
菅田	0	FP	山村	4
相馬	0	FP	福村	2
宮下	2	FP	梅基	0
(3)	22	PT	(0)	22

〔審・志々場竹野〕

〔前期順位〕
① 湧永製薬
② 日新製鋼
③ 本田技研鈴鹿
④ 大崎電気
⑤ 大同特殊鋼
⑥ 三陽商会

女子

◇**6月3日(土)　東海市民体育館**

日本ビクター26〔12—8 14—9〕17シャトレーゼ

〔戦評〕前半、ビクター・長田の得点で始まる。シャトレーゼも嶋崎で応襲するが、海道、嶋崎のロング陣にキレがなく、ポストへのパスも読まれ、苦戦を強いられる。一方ビクターは、長田が要所で点をあげ差を広げる。
　後半、シャトレーゼは生方の得点で反撃を見せたが、ビクターはGK小口の冷静なキーピングで得点を阻止し、攻めては速攻にカットイン、スピード豊かな展開で着実に点差を広げた。

〔シャト〕	得		〔日ビ〕	得
丸山	0	GK	小口	0
千葉	0	GK		0
小松	1	FP	武藤	4
嶋崎	1	FP	長田	12
海道	5	FP	枝川	3
松沢	4	FP	下條	1
黒沼	0	FP	平松	0
小林	2	FP	太田	1
江原	0	FP	工藤	0
生方	3	FP	永岡	1
山岸	0	FP	山之内	0
小俣	1	FP	中村	4
(1)	17	PT	(2)	26

〔審・渡辺楓〕

◇**6月10日(土)　愛知・三好公園総合体育館**

大崎電気32〔18—11 14—12〕23日本ビクター

〔戦評〕ビクターは5分過ぎまで6本のシュートを打ったが決まらず苦戦したが、枝川、長田の活躍で18分過ぎまで9—9の同点で頑張った。しかし、16分から10分間得点できず、一方大崎はその間に尹の豪快なシュートで着実に加点、前半を18—11で終了した。
　後半、大崎は金、尹を中心に得点、ビクターも長田、枝川を中心に頑張ったが、終ってみれば大崎の快勝であった。
　日本ビクターの長田は史上2人目の「300ゴール」を達成、また、同じくビクターの武藤は、56試合連続得点の新記録を達成した。

〔シャト〕	得		〔大和〕	得
丸山	0	GK	増見	0
千葉	0	GK	岡田	0
小松	0	FP	丸田	6
島崎	2	FP	鈴木	1
松沢	3	FP	袰川	5
黒沼	4	FP	上村	3
小林	0	FP	小池	4
小野寺	2	FP	藤本	1
江原	3	FP	渡辺	0
生方	2	FP	木瀬	0
山岸	2	FP	松田	0
成田	0	FP	瀬川	0
(1)	18	PT	(1)	20

〔審・羽田菊池〕

◇**6月10日(土)　山梨・鐘山スポーツセンター**

大和銀行20〔7—8 13—10〕18シャトレーゼ

〔戦評〕前半、大和は大砲・丸田が3連続ゴールを決め、好調な滑

り出しを見せる。対するシャトレーゼはエース海道が負傷欠場で戦力に不安があった。しかし、その海道の穴を見事にカバーして前半22分まで追いつ追われつの試合展開で、25分には8—5とシャトレーゼがリードした。

後半に入って、大和は丸田、裂川のフローターコンビのクロス攻撃を軸にシャトレーゼを攻める。対するシャトレーゼは、嶋崎、生方を中心にボールを細かくつないでスピードのある攻撃で対抗する。後半25分まで一進一退で18—18の同点。残り2分で双方打ち合いになったが、最後に大和が2ゴールを決めて辛うじて勝った。

得	〔ジャ〕		〔立石〕	得
1	小深田	GK	岡本	0
0	吉田	GK	川島	0
2	佐々木	FP	横田	0
4	石田	FP	山内	1
1	常石	FP	中山	1
3	川井	FP	武津	11
1	池田	FP	毛利	0
4	東出	FP	野嶋	1
0	寿糸	FP	斉藤	2
0	稲田	FP	石村	0
0	今井	FP	古田	0
1	勝島	FP	比嘉	6
17	(1)	PT	(4)	22

（審・岩永、細井）

◇6月10日(土)　三重・四日市市体育館

立石電機山鹿 22 〔8—7 / 14—10〕 17 ジャスコ

〔戦評〕ジャスコは東出のシュートで先制したが、すぐに立石は比嘉がペナルティーを決めて追いつき、その後も武津、比嘉のシュートがよく決まって、20分には8—4とした。その後立石の攻撃をよくしのいだジャスコは石田の連続得点などで追い上げ、前半を8—7の1点差まで追い上げた。

後半に入って、立石は4連続ゴールで5点差としたが、ジャスコはよく粘って17分には13—12と1点差に追い上げ好ゲームを展開した。立石は武津のロングシュートがよく決まって22分には6点差としてジャスコを突き放した。

得	〔日ビ〕		〔大崎〕	得
0	小口	GK	佐々木	0
0	山田	GK	宗片	0
1	武藤	FP	森田	0
7	長田	FP	藤井	2
7	枝川	FP	前川	4
2	下條	FP	梅原	5
0	平松	FP	江口	3
1	太田	FP	鷲宮	0
0	工藤	FP	野田	2
2	永岡	FP	金	10
1	山之内	FP	尹	6
2	中村	FP	小松沢	0
23	(5)	PT	(3)	32

（審・森、川島）

◇6月11日(日)　岐阜県民体育館

日本ビクター 19 〔11—6 / 8—12〕 18 立石電機山鹿

〔戦評〕セット攻撃中心の立石は比嘉の回り込み、武津のロングを軸に得点を重ねる。一方ビクターは、立石の1・2・3DFに苦しみながら、長田の連続速攻などで15分まで6—6となる。しかし立石は単調なロングが続き、ビクターはセット、速攻で確実に加点し、11—6で前半を終える。

後半16分まで一進一退の攻防であったが、16分過ぎにビクター・武藤に対し立石はマンツーに出る。足が止まったビクターに対し、立石は比嘉のフリースローからの連続得点などで24分に同点に追いついた。しかし、気力に勝るビクターはその後、中村のサイドシュートなどで3連続加点して勝負を決めた。

得	〔立石〕		〔日ビ〕	得
0	岡本	GK	小口	0
0	川島	GK	山田	0
0	横田	FP	武藤	4
0	山内	FP	長田	7
3	中山	FP	枝川	0
6	武津	FP	下條	3
0	毛利	FP	平松	0
0	野嶋	FP	太田	2
0	斉藤	FP	工藤	0
1	石村	FP	永岡	0
0	古田	FP	山之内	0
8	比嘉	FP	中村	3
18	(3)	PT	(3)	19

（審・細井、岩永）

◇6月11日(日)　愛知・豊橋市総合体育館

大崎電気 34 〔16—13 / 18—13〕 26 ジャスコ

〔戦評〕開始から両チームの持ち味を生かした攻防であった。大崎は声の出た堅いディフェンスと金を中心としたパワフルな攻撃で着着と得点。ジャスコも相手のパスミスを速攻に生かし、速いパスプレーでボールをつなぎ、得点チャンスをつかんだ。前半はじりじりとリードを広げた大崎が18—13と5点をリードして折り返した。

後半に入り、ジャスコは大崎の金、尹に対しマンツーマンディフェンスを敷き、また川井、東出両選手がそれぞれ6点をあげるなど健闘したが、得点チャンスでの大崎の両GKの好守もあり、波に乗ることができず、結局34—26で地力に勝る大崎が勝利を収めた。

得	〔ジャ〕		〔大崎〕	得
0	小深田	GK	佐々木	0
0	吉田	GK	宗片	0
4	佐々木	FP	森田	1
3	石田	FP	藤井	3
2	常石	FP	前川	4
6	川井	FP	梅原	5
4	池田	FP	江口	4
6	東出	FP	鷲宮	0
0	寿糸	FP	野田	1
0	稲田	FP	金	10
0	今井	FP	尹	6
1	勝島	FP	小松沢	0
26	(3)	PT	(3)	34

（審・楓、渡辺）

◇6月17日(土)　大阪市中央体育館

大崎電気 33 〔14—15 / 19—16〕 31 大和銀行

〔戦評〕前半、10分までは追いつ追われつの白熱の展開。中盤、大和の中だるみに対し大崎は着実に得点していく。大和も終盤加点す

得	〔大和〕		〔大崎〕	得
0	増見	GK	佐々木	0
0	岡田	GK	宗片	0
7	丸田	FP	森田	0
5	鈴木	FP	藤井	5
7	裂川	FP	前川	5
5	上村	FP	梅原	3
3	小池	FP	江口	3
2	藤本	FP	鷲宮	0
1	渡辺	FP	野田	0
0	木瀬	FP	金	11
1	松田	FP	尹	6
0	橋本	FP	小松沢	0
31	(6)	PT	(6)	33

（審・大原、北山）

るが、19−16で前半を折り返す。
　後半、出だし大和のシュートミスが目立ち、大崎がコンスタントに加点。中盤、金の要所で得点が光り、一方大和はシュートミスが目立つ。終盤、大和が猛追を見せたが、大崎が逃げ切った。

◇6月18日(日)
兵庫・西宮中央体育館

大和銀行26（13−12、13−11）23 日本ビクター

〔戦評〕両チームともスピードがあり、パワフルなプレーが続けられ、一進一退のゲームが展開された。ディフェンスはビクターの詰めの甘さが目立ち、大和はロングに対しての詰めが甘かった。
　オフェンスでは、大和・上村のアシストプレー、回り込みシュートが印象に残ったゲームであった。

	〔立石〕	得	〔大崎〕	得
GK	岡本	0	佐々木	0
GK	川島	0	宗片	0
FP	横田	0	森田	0
FP	山内	2	藤井	5
FP	中山	5	前川	4
FP	武津	6	梅原	6
FP	毛利	0	江口	5
FP	野嶋	2	鷲宮	0
FP	斉藤	0	野田	0
FP	石村	1	金	4
FP	古田	0	尹	8
FP	比嘉	9	小松沢	0
PT		(3)		(2)
		25		32

（審・板倉　岩本）

◇6月18日(日)
愛知・岡崎市体育館

大崎電気32（14−13、18−12）25 立石電機山鹿

〔戦評〕尹、梅原の大型選手を中心とした大崎に対し、今日の立石は比嘉のあらゆる角度からのステップシュートが冴え、前半15分まで7−7の互角の立ち上がりとなった。その後大崎が2点リードし、そのままペースをつかむかにみえたが、立石も粘りをみせて追いつき1点を争う好ゲームとなった。
　しかし、後半立石は比嘉に頼りきりの消極的な攻撃となってしまい、逆に大崎は持ち前の粘り強いディフェンスから確実にボールを回し、全員を得点を重ねた。前半のペースを取り戻したい立石は、2・4ディフェンスで対応し、終了4分前に3点差と追い上げたが、大崎もラストスパートをかけ、連続4得点で勝負を決めた。

	〔日ビ〕	得	〔大和〕	得
GK	小口	0	増見	0
GK	山田	0	岡田	0
FP	武藤	7	丸田	8
FP	長田	7	鈴木	0
FP	枝川	2	嚢川	6
FP	下條	2	上村	4
FP	平松	0	小池	6
FP	太田	2	藤本	1
FP	工藤	0	渡辺	0
FP	永岡	0	木瀬	0
FP	山之内	1	松田	1
FP	中村	2	上野	0
PT		(2)		(1)
		23		26

（審・浜野　大原）

◇6月18日(日)
広島・呉市体育館

ジャスコ21（10−10、11−7）17 シャトレーゼ

〔戦評〕さすが1部チームの試合らしく両チームともスピード感あふれるプレーを展開した。ジャスコは、速攻、ポストプレーで得点し、時折見せる池田のステップシュートが効果的に決まった。シャトレーゼも松沢のサイド、ミドルシュートなどで応戦し、前半は10−10の同点で折り返す。
　後半もジャスコは着実に加点していく。シャトレーゼは必要以上にポストにパスを入れようとし、ジャスコのディフェンスを崩せない。シャトレーゼは同点にするが、それが精一杯で常に自分たちのペースでプレーしたジャスコが勝利を収めた。

	〔シャト〕	得	〔ジャ〕	得
GK	丸山	0	小深田	0
GK	工藤	0	小林	0
FP	小松	0	佐々木	2
FP	島崎	1	石田	2
FP	松沢	5	常石	1
FP	黒沼	1	川井	8
FP	小林	1	池田	5
FP	小野寺	0	東出	2
FP	江原	0	寿糸	0
FP	生方	7	指田	0
FP	山岸	2	今井	0
FP	小俣	0	勝島	1
PT		(2)		(0)
		17		21

（審・古富　中本）

◇6月24日(土)
茨城・霞ヶ浦文化体育館

日本ビクター22（13−9、9−6）15 ジャスコ

〔戦評〕終始ビクターのリードで展開された。特に武藤、長田のゲームメーク、ロング、ポストシュートが目立った。
　ジャスコがシュートミスが目立ち、後半ペナルティースロー2本をはずすなど、なかなか追撃がかなわず、ビクターが余裕を持って逃げ切った。

	〔ジャ〕	得	〔日ビ〕	得
GK	小深田	0	小口	0
GK	吉田	0	山田	0
FP	佐々木	3	武藤	5
FP	石田	2	長田	3
FP	常石	1	枝川	4
FP	川井	4	下條	2
FP	池田	2	平松	0
FP	東出	1	太田	3
FP	寿糸	0	永岡	0
FP	稲田	0	山之内	0
FP	今井	2	中村	5
FP	勝島	0	小松	0
PT		(1)		(1)
		15		22

（審・大出　中山）

◇6月25日(日)
鹿児島・国分市総合体育館

大崎電気36（21−13、15−14）27 シャトレーゼ

〔戦評〕大崎・尹のカットインで簡単に先取。シャトレーゼも山岸のPTで返すが、大崎は金、尹で連取。シャトレーゼも食い下がったが、残り5分頃から大崎の速攻、ポストと6連続得点で8点差で前半を終わる。
　後半も梅原、江口の得点で大崎

	〔シャト〕	得	〔大崎〕	得
GK	丸山	0	佐々木	0
GK	工藤	0	宗片	0
FP	小松	2	森田	1
FP	島崎	0	藤井	2
FP	海道	5	前川	5
FP	松沢	4	梅原	2
FP	黒沼	5	江口	6
FP	小林	0	鷲宮	0
FP	小野寺	0	野田	2
FP	生方	5	金	13
FP	山岸	6	福井	0
FP	小俣	0	尹	5
PT		(7)		(6)
		27		36

（審・大城　南）

ペースで始まる。シャトレーゼも粘るが、大崎の固いディフェンスを崩すことがなかなかできず、逆に速い動きの大崎の攻撃でシャトレーゼに退場者が相つぐ。しかし13分過ぎからシャトレーゼも追い上げ、後半は互角の展開となるが、前半の8点差が大きく、大崎の完勝に終った。

◇6月25日(日)　広島市東区スポーツセンター

大和銀行 27 {13－9 / 14－11} 20 立石電機山鹿

〔戦評〕立ち上がり大和は得意の速攻で加点し、リードを奪った。一方の立石も徐々にセット攻撃が冴え、中盤は一進一退の好ゲームとなった。前半終了間際、大和が速攻を決め、3点差で折り返した。

後半は大和がミドル攻撃を軸に積極的に攻め、徐々にリードを広げた。立石は、相手チームの退場時に逆にリードを広げられたのが悔やまれる。

	〔立石〕	得	〔大和〕	得
GK	岡本	0	増見	0
GK	川島	0	岡田	1
FP	横田	0	丸田	6
FP	山内	2	鈴木	5
FP	中山	5	袰川	6
FP	武津	3	上村	1
FP	毛利	0	小池	4
FP	野嶋	1	藤本	1
FP	斉藤	2	渡辺	1
FP	石村	1	木瀬	0
FP	古田	0	松田	2
FP	比嘉	6	瀬川	0
PT	(2)	20	(6)	27

（審・中本　東）

◇7月2日(日)　東京・青手学院記念館

立石電機山鹿 24 {14－10 / 8－12} 20 シャトレーゼ

〔戦評〕前半、お互いにスピーディな動きで1点を争う好ゲームとなったが、終了直前シャトレーゼ海道のロングシュートが決まり、シャトレーゼの2点リードで前半を終了した。

後半に入ると、徐々に立石のペースとなり、大事な場面でGK岡本がペナルティーを2本阻止するなど、残り10分間は完全に立石のペースとなり、比嘉が後半6得点する活躍を見せ、立石が逆転勝ちを収めた。

	〔シャト〕	得	〔立石〕	得
GK	丸山	0	岡本	0
GK	千葉	0	川島	0
FP	島崎	2	横田	2
FP	海道	3	山内	1
FP	松沢	2	中山	4
FP	黒沼	1	武津	6
FP	小林	0	毛利	0
FP	小野寺	4	野嶋	4
FP	江原	1	斉藤	1
FP	生方	2	石村	0
FP	山岸	5	古田	0
FP	野沢	0	比嘉	6
PT	(5)	20	(1)	24

（審・小笠原　浜田）

◇7月2日(日)　福井県営体育館

ジャスコ 23 {11－9 / 12－13} 22 大和銀行

〔戦評〕前半、ジャスコが先制、大和は攻めてはシュートミスが多く、また守っては反則から相手にペナルティースローを与える苦しい立ち上がり。しかし、じりじりと追い上げ、前半終了間際に袰川がペナルティスローを決めて13－12と1点をリードして前半終了。

後半に入ると大和が2点を連取。しかし、ジャスコも中盤じりじりと追い上げ、25分過ぎに遂に22－21と逆転。大和も残り2分追いつくが、ジャスコは終了間際、石田が決めて1点差を逃げ切った。

	〔大和〕	得	〔ジャ〕	得
GK	増見	0	小深田	0
GK	築田	0	吉田	0
FP	丸田	3	佐々木	4
FP	鈴木	3	石田	4
FP	袰川	6	常石	0
FP	上村	3	川井	4
FP	小池	5	池田	7
FP	渡辺	0	東出	3
FP	木瀬	0	寿糸	0
FP	松田	2	稲田	0
FP	瀬川	0	今井	0
FP	又吉	0	勝鳥	1
PT	(3)	22	(5)	23

（審・八日市屋　金森）

〔前期順位〕

①大崎電気
②大和銀行
③日本ビクター
④立石電機山鹿
⑤ジャスコ
⑥シャトレーゼ

各地学生春季リーグ戦結果

北海道学生

▼男子1部

函館大 56－16 釧路教大
函館大 26－14 北海道大
函館大 33－18 北大医学部
函館大 44－14 函館教大
函館大 28－4 小樽商大
北海道大 35－9 釧路教大
北海道大 26－13 北大医学部
北海道大 28－11 函館教大
北海道大 25－12 小樽商大
北大医学部 36－18 釧路教大
北大医学部 25－21 函館教大
北大医学部 18－17 小樽商大
小樽商大 41－11 釧路教大
小樽商大 27－14 函館商大
函館商大 24－16 釧路教大

〔順位〕①函館大②北海道大③北海道大医学部④小樽商科大⑤函館教育大⑥釧路教育大

▼男子2部

北海学園大 28－19 北星学園大
北海学園大 35－22 旭川教大
北海学園大 33－19 北海道工大
北海学園大 33－20 室蘭工大
北星学園大 24－20 旭川教大
北星学園大 18－18 北海道工大
北星学園大 26－17 室蘭工大
旭川教大 39－23 北海道工大
旭川教大 34－24 室蘭工大
北海道工大 25－19 室蘭工大

〔順位〕①北海道学園大②北星学園大③旭川教育大④北海道工大⑤室蘭工大

▼男子3部

札幌大 32－23 道都大
札幌大 28－20 北見工大
札幌大 36－7 札幌学院大
札幌大 39－12 北海学院大北見
札幌大 32－18 釧路公立大
道都大 31－24 北見工大
道都大 39－16 札幌学院大
道都大 40－16 北海学院大北見
道都大 26－13 釧路公立大
釧路公立大 19－18 北見工大
釧路公立大 24－17 札幌学院大
釧路公立大 35－11 北海学院大北見
北見工大 26－21 札幌学院大
北見工大 42－16 北海学院大北見
北海学院大北見 14－13 札幌学院大

〔順位〕①札幌大②道都大③釧路公立大④北見工大⑤北海学院大北見⑥札幌学院大

▼女子

旭川教大 19－6 北海道女短大
旭川教大 13－11 北星学園大
北海道女短大 15－10 北星学園大

〔順位〕①旭川教育大②北海道女短大③北星学園大

東北学生

東北福祉大 21－18 東北学院大
東北福祉大 20－20 岩手大
東北福祉大 20－19 福島大
東北福祉大 29－17 山形大
東北福祉大 33－20 仙台大
東北学院大 18－18 岩手大
東北学院大 28－18 山形大
東北学院大 30－17 仙台大
岩手大 29－18 山形大
岩手大 31－22 仙台大
岩手大 18－18 福島大
福島大 19－15 東北学院大
福島大 27－12 山形大
福島大 21－21 仙台大
仙台大 19－17 山形大

〔順位〕①東北福祉大②東北学院大③岩手大④福島大⑤仙台大⑥山形大

▼男子2部

東北大 25－9 宮教大
東北大 25－24 弘前大
東北大 23－19 秋田大
東北大 46－16 日大工学部
東北大 40－18 北里大
宮教大 17－13 弘前大
宮教大 19－14 秋田大
宮教大 34－21 日大工学部
宮教大 26－14 北里大
弘前大 25－18 秋田大
弘前大 46－22 日大工学部
弘前大 33－12 北里大
秋田大 35－15 日大工学部
秋田大 26－15 北里大
日大工学部 23－16 北里大

〔順位〕①東北大②宮城教育大③弘前大④秋田大⑤日大工学部⑥北里大

▼女子

東北福祉大 25－15 福島大
東北福祉大 32－8 山形大
東北福祉大 29－9 岩手大
東北福祉大 44－9 宮教大
福島大 27－14 山形大
福島大 24－12 岩手大
福島大 39－9 宮教大
山形大 17－15 岩手大
山形大 29－13 宮教大
岩手大 21－8 宮教大

〔順位〕①東北福祉大②福島大③山形大④岩手大⑤宮城教育大

関東学生

▼男子1部

国士館大 16－16 日大
早大 30－27 中大
日体大 22－15 東海大
筑波大 28－20 慶大
早大 31－22 日大
筑波大 28－20 東海大
国士館大 21－15 中大
日体大 20－12 慶大
早大 29－19 慶大
筑波大 34－26 中大
日大 25－22 日体大
国士館大 18－16 東海大
国士館大 18－16 慶大
早大 29－19 東海大
筑波大 20－18 日大

日体大 34－27 中大
中大 18－18 東海大
日大 24－12 慶大
早大 28－18 日体大
筑波大 24－13 国士館大
中大 24－16 慶大
日大 24－19 東海大
国士館大 26－20 日体大
早大 29－19 筑波大
東海大 20－20 慶大
中大 21－19 日大
早大 36－23 国士館大
日体大 25－21 筑波大

〔順位〕①早稲田大②筑波大③国士館大④日本体育大⑤日本大⑥中央大⑦東海大⑧慶応大

〔最優秀選手賞〕
大橋則一（早大）

〔敢闘賞〕
堀江智勝（日大）

〔新人賞〕
鳥手裕紀（早大）

〔得点王〕
大村耕一（早大）60点

〔優秀選手賞〕
GK 荒木進（早大）
比嘉薫（日体大）
FP 大村耕一（早大）
菰原克典（早大）
大中明徳（早大）
鎌田雅彦（筑波大）
源内利之（国士館大）

▼男子2部

国武大 26－19 学芸大
明大 17－12 東経大
順大 34－14 青学大
法大 34－18 東大
順大 30－22 東大
明大 28－20 国武大
東経大 21－16 学芸大
法大 25－17 東経大
明大 24－14 東大
学芸大 29－17 青学大
法大 33－14 青学大
順大 25－23 東経大
学芸大 20－17 東大
法大 30－23 国武大
明大 29－19 青学大
順大 26－19 国武大
法大 28－11 学芸大
順大 17－15 明大
国武大 29－21 東大
東経大 17－16 青学大
東経大 23－16 東大
国武大 28－20 青学大
学芸大 22－21 順大
法大 22－19 明大
青学大 23－17 東大
東経大 22－20 国武大
明大 21－20 学芸大
法大 20－20 順大

〔順位〕①法政大②順天堂大③明治大④東京経済大⑤国際武道大⑥東京学芸大⑦青山学院大⑧東京大

▼男子3部

明星大 31－10 横浜商大
駒大 21－20 茨城大
拓殖大 29－17 上智大
専修大 35－28 理科大
専修大 28－15 横浜商大
上智大 17－16 駒大
明星大 32－21 理科大
拓殖大 23－17 茨城大
理科大 23－20 茨城大
上智大 23－14 横浜商大
駒大 30－21 専修大
拓殖大 19－14 明星大
明星大 38－17 駒大
拓殖大 32－18 専修大
横浜商大 21－18 茨城大
理科大 21－19 上智大
専修大 27－25 茨城大
理科大 27－25 駒大
拓殖大 26－16 横浜商大
明星大 24－17 上智大
拓殖大 32－21 理科大
横浜商大 21－19 駒大
専修大 22－20 上智大
明星大 27－23 茨城大
横浜商大 26－24 理科大
上智大 21－16 茨城大
拓殖大 34－13 駒大
明星大 27－26 専修大

〔順位〕①拓殖大②明星大③専修大④上智大⑤東京理科大⑥横浜商大⑦駒沢大⑧茨城大

▼男子4部

東農大 31－16 千葉大
帝京大 28－28 武工大
防衛大 31－26 東工大
立教大 13－12 芝工大
芝工大 16－14 東農大
立教大 17－10 千葉大
防衛大 25－17 帝京大
東工大 28－22 武工大
芝工大 29－25 武工大
防衛大 24－18 千葉大
立教大 23－13 東工大
東農大 30－20 帝京大
芝工大 33－10 千葉大
防衛大 19－17 武工大
東農大 24－16 武工大
東工大 15－15 千葉大
防衛大 19－15 立教大
芝工大 20－20 帝京大
武工大 24－16 立教大
東工大 22－16 帝京大
防衛大 22－20 東農大
東農大 22－17 立教大
帝京大 26－17 千葉大
芝工大 31－20 東工大
東農大 18－18 東工大
帝京大 30－19 立教大
武工大 27－25 千葉大
防衛大 22－19 芝工大

〔順位〕①防衛大②芝浦工業大③東京農業大④帝京大⑤立教大⑥東京工業大⑦武蔵工業大⑧千葉大

▼男子5部

明学大 25－22 神大
横国大 25－23 創価大
都留文大 29－26 文教大
一橋大 33－13 産能大
創価大 23－22 明学大
神大 32－15 都留文大
明学大 21－20 文教大
一橋大 21－16 都留文大
横国大 31－12 産能大
横国大 25－24 明学大
一橋大 20－12 文教大
神大 21－19 創価大
都留文大 21－18 産能大
産能大 23－19 神大
一橋大 23－21 明学大
創価大 24－21 文教大
横国大 35－25 都留文大
横国大 32－19 神大
産能大 28－20 文教大
一橋大 24－18 創価大
明学大 31－22 都留文大
神大 24－20 文教大
創価大 17－15 都留文大
明学大 30－11 産能大
一橋大 20－17 横国大
一橋大 18－18 神大
横国大 25－18 文教大
創価大 27－16 産能大

〔順位〕①一橋大②横浜国立大③明治学院大④創価大⑤神奈川大⑥都留文科大⑦産能大⑧文教大

▼男子6部

成蹊大 24－22 関学大
玉川大 23－13 農工大
亜大 21－20 関学大
東洋大 25－21 独協大
成蹊大 31－7 農工大
玉川大 28－23 埼玉大
玉川大 18－16 東洋大
亜大 32－21 農工大
独協大 25－19 関学大
成蹊大 33－28 埼玉大
独協大 18－18 玉川大
東洋大 31－28 関学大
成蹊大 28－16 亜大
埼玉大 27－22 農工大

埼玉大 35－29 東洋大
玉川大 16－16 成蹊大
独協大 31－20 亜大
関学大 29－24 農工大
玉川大 31－22 関学大
独協大 31－22 関学大
独協大 21－12 農工大
埼玉大 30－29 亜大
東洋大 27－23 成蹊大
東洋大 23－20 亜大
玉川大 28－12 亜大
東洋大 33－14 農工大
独協大 25－21 成蹊大
埼玉大 32－24 関学大
独協大 22－22 埼玉大

〔順位〕①玉川大②独協大③埼玉大④東洋大⑤成蹊大⑥亜細亜大⑦関東学院大⑧東京農工大

▼男子7部

○Aリーグ

東工芸大 25－23 群馬大
横市大 30－15 群馬大
杏林大 21－13 工科大
工芸大 30－16 日工大
横市大 29－17 工芸大
群馬大 33－17 工科大
杏林大 25－17 日工大
群馬大 27－17 杏林大
横市大 47－15 日工大
群馬大 38－19 日工大
横市大 22－15 杏林大
工芸大 28－13 工科大
杏林大 21－16 工芸大
横市大 43－11 工科大
日工大 41－19 工科大

○Bリーグ

千工大 29－11 都立大
武蔵大 20－18 東電大
帝技大 23－15 武蔵大
都立大 20－18 東電大
都立大 15－14 帝技大
千工大 32－10 東電大
都立大 24－19 武蔵大
千工大 23－19 帝技大
帝技大 19－13 東電大
千工大 30－20 武蔵大

○順位決定戦

千工大 15－13 横市大
群馬大 13－10 都立大

〔順位〕①千葉工業大②横浜市立大③群馬大④都立大⑤帝京技術科学大⑥東京工芸大⑦杏林大⑧武蔵大⑨日本工業大⑩東電学園大⑪東京工科大⑫東京外語大

▼女子1部

日体大 25－11 日女体大
筑波大 24－10 東海大
東女体大 43－10 学芸大
日体大 19－18 日女体大
筑波大 19－12 東海大
東女体大 50－9 学芸大
筑波大 34－5 学芸大
日体大 31－9 東海大
東女体大 32－15 日女体大
東女体大 27－14 日女体大
筑波大 33－4 学芸大
日体大 32－7 東海大
東海大 14－5 学芸大
筑波大 21－15 日女体大
東女体大 17－17 日女体大
東海大 24－9 学芸大
筑波大 29－16 日女体大
東女体大 22－22 日女体大
東女体大 29－9 東海大
日体大 23－12 筑波大
日女体大 25－14 学芸大
日女体大 29－12 学芸大
東女体大 31－14 東海大
日体大 23－17 筑波大
日女体大 20－18 東海大
東女体大 24－13 筑波大
日体大 49－11 学芸大
日体大 42－18 学芸大
日女体大 21－18 東海大
東女体大 28－15 筑波大

〔順位〕①東京女子体育大②日本体育大③筑波大④日本女子体育大⑤東海大⑥東京学芸大

〔最優秀選手〕
佐藤　真理（東女体大）

〔敢闘賞〕
宇井由美子（日女体大）

〔新人賞〕
本橋　優子（東女体大）
竹吉　由江（日体大）

〔得点王〕
田鹿アスナ（東女体大）59点

〔優秀選手賞〕
GK　村山みどり（東女体大）
FP　伝法谷芳子（東女体大）
竹野美夕希（東女体大）
市来　未央（日体大）
大間　千春（日体大）
児玉　薫（日体大）
大塚　靖子（筑波大）

▼女子2部

茨城大 44－6 文教大
茨城大 43－20 横国大
千葉大 27－27 横国大
千明短大 34－7 千葉大
横国大 31－23 文教大
茨城大 23－8 千葉大
千明短大 40－11 横国大
千葉大 16－10 文教大
千明短大 14－11 茨城大
千明短大 26－3 文教大

〔順位〕①千葉明徳短大②茨城大③千葉大④横浜国立大⑤文教大

▼入替戦

〈男子〉

横浜市大 30－25 関学大
文教大 23－20 玉川大
独協大 27－19 産能大
千葉工大 22－15 東農工大
武蔵工大 29－28 横浜国大
一橋大 30－18 千葉大
芝浦工大 24－20 駒沢大
茨城大 20－12 防衛大
青学大 20－19 明星大
拓殖大 19－13 東大
順大 26－20 東海大
慶応大 23－21 法政大

〈女子〉

学芸大 22－14 千明短大

※以上の結果、順天大、拓殖大、横浜市大、独協大、千葉工大、一橋大、芝浦工大が昇格、文教大、武蔵工大、茨城大、青山学院大、慶応大、東京学芸大（女子）がそれぞれ残格しました。

東海学生

▼男子1部

中部大 34—21 愛教大
中京大 39—17 名大
名城大 26—13 愛教大
中京大 36—15 愛教大
中部大 26—23 愛学大
中部大 30—13 名大
愛教大 23—21 愛学大
名城大 27—15 名大
中京大 19—19 愛学大
中部大 23—20 名城大
名大 22—19 愛学大
愛教大 28—22 名大
名城大 21—16 愛学大
中京大 27—22 中部大

〔順位〕①中部大②名城大③中京大④愛知教育大⑤名古屋大⑥愛知学院大

▼女子

中京大 15—9 愛教大
中京女大 28—17 愛教大
中京女大 29—23 中京大
中京大 26—14 愛教大
中京女大 27—10 愛教大
中京女大 19—17 中京大

〔順位〕①中京女大②中京大③愛知教育大※日本福祉大は棄権

関西学生

▼男子1部

同大 23—22 京教大
天理大 25—17 関大
大経大 24—17 関大
京産大 13—12 京教大
同大 20—19 関大
大体大 37—13 天理大
大経大 29—20 京教大
大体大 31—8 京教大
大経大 33—14 天理大
関大 24—19 京産大
京教大 25—24 天理大
同大 24—20 大体大
大経大 29—17 京産大
大体大 34—15 京産大
同大 30—16 天理大
大体大 33—18 関大
京産大 24—20 天理大
大経大 20—19 同大
関大 16—16 京教大
同大 24—20 京産大
大経大 26—20 大体大

〔順位〕①大阪経済大②同志社大③大阪体育大④京都産業大⑤関西大⑥京都教育大⑦天理大

▼女子1部

大体大 27—11 関外大
天理大 38—15 大教大
武庫川大 40—6 京教大
大体大 38—4 成蹊女短大
大教大 25—12 京教大
武庫川大 45—8 関外大
天理大 43—4 成蹊女短大
武庫川大 42—5 成蹊女短大
天理大 35—11 関外大
大体大 22—14 大教大
武庫川大 30—10 大教大
京教大 17—7 成蹊女短大
関外大 25—14 京教大
天理大 22—21 大体大
大教大 30—5 成蹊女短大
武庫川大 19—14 天理大
大教大 25—16 関外大
大体大 26—3 京教大
関外大 27—14 成蹊女短大
天理大 29—11 京教大
武庫川大 28—9 大体大

〔順位〕①武庫川女大②天理大③大阪体育大④大阪教育大⑤関西外語大⑥京都教育大⑦成蹊女短大

山口県学生

▼男子

山口大医学部 26—22 宇部高専
徳山大 26—21 徳山高専
山口大本部 23—13 宇部高専
徳山大 32—15 山口大医学部
山口大本部 30—16 徳山高専
山口大本部 22—15 徳山大
徳山高専 23—21 山口大医学部
徳山大 39—20 宇部高専
山口大本部 31—15 山口医学部
徳山高専 31—19 宇部高専

〔順位〕①山口大本部②徳山大③徳山高専④山口大医学部⑤宇部高専

福岡県学生

▼男子1部

福岡大 40—16 九州産大
福岡大 32—23 福教大
福岡大 40—14 久留米工大
福岡大 40—18 九州大
福岡大 30—22 東和大
東和大 31—18 九州産大
東和大 40—20 福教大
東和大 30—18 久留米工大
東和大 29—20 九州大
九州産大 25—18 福教大
九州産大 16—14 九州大
福教大 28—19 久留米工大
福教大 32—25 九州大
九州大 24—16 久留米工大
久留米工大 23—22 九州産大

〔順位〕①福岡大②東和大③九州大④福岡教育大⑤九州産業大⑥久留米工業大

▼男子2部

熊本大 24—16 西南学院大
熊本大 33—14 産業医大
熊本大 32—14 長崎大
熊本大 48—7 九州共立大
西南学院大 33—21 九州共立大
西南学院大 30—20 産業医大
西南学院大 30—16 長崎大
長崎大 24—23 産業医大
長崎大 46—15 九州共立大
産業医大 21—18 九州共立大

〔順位〕①熊本大②西南学院大③長崎大④産業医大⑤九州共立大

▼男子3部

長崎総科大 47—20 九州工大
長崎総科大 47—26 福岡工大
長崎総科大 49—29 西日本工大
長崎総科大 12—0 長崎国際経大
西日本工大 35—30 九州工大
西日本工大 33—19 福岡工大
西日本工大 12—0 長崎国際経大
九州工大 12—0 長崎国際経大
九州工大 38—19 福岡工大
福岡工大 12—0 長崎国際経大

〔順位〕①長崎総科大②西日本工大③九州工業大④福岡工業大⑤長崎国際経済大

▼女子

福岡大 51—6 長崎大
福岡大 34—13 福岡教大
福岡大 30—21 九州女大
九州女大 27—20 福岡教大
九州女大 47—9 長崎大
福岡教大 35—10 長崎大

〔順位〕①福岡大②九州女大③福岡教育大④長崎大

各地の記録から…

東北

第16回青森県春季社会人選手権

（4月15、16日／野辺地町立体育館）

〈男子〉

▼1回戦

海自二航 18－13 北里大

七戸ユニオンB 25－11 大湊

▼2回戦

七戸ユニオンA 35－15 海自二航

青商クラブ 30－22 NHC

青森クラブ 25－20 弘前大

野辺地クラブ 41－11 七戸ユニオンB

▼準決勝

七戸ユニオンA 24－22 青商クラブ

野辺地クラブ 38－13 青森クラブ

▼決勝

野辺地クラブ 31（15－16、16－7）23 七戸ユニオンA

〈女子〉

▼リーグ戦

あすなろクラブ 21－4 七戸クラブ

野辺地クラブ 28－9 七戸クラブ

野辺地クラブ 17－15 あすなろクラブ

〔順位〕①野辺地クラブ②あすなろクラブ③七戸クラブ

宮城県春季選手権

（4月20～23日／仙台市体育館）

〈一般男子〉

▼1回戦

東北大 35－13 白虹会

東北電力 35－12 仙台電波高専

仙台大 31－14 宮教大

宮城高専 25－14 東北クラブ

▼2回戦

学院大OB 22－20 東北大

東北福祉大 35－10 東北電力

東北学院大 43－8 宮城高専

仙台大 23－17 育英クラブ

▼準決勝

東北学院大 23－17 仙台大

学院大OB 22－16 東北福祉大

▼決勝

東北学院大 27（12－10、15－15）25 学院大OB

〈高校男子〉

▼1回戦

仙台一 27－19 仙台

仙台二 36－21 築館

古川 24－12 仙台南

仙台三 17－15 仙台西

宮城工 18－9 塩釜

佐沼 28－17 宮城広瀬

仙台東 29－12 東北電子工

榴ヶ岡 21－19 東北

▼2回戦

仙台育英 29－12 仙台一

仙台二 30－26 一迫商

古川 27－21 古川商

古川工 24－16 仙台三

仙台商 32－12 宮城工

佐沼 31－9 泉館山

仙台東 24－16 泉松陵

仙台向山 40－10 榴ヶ岡

▼3回戦

仙台育英 32－12 仙台二

古川工 29－27 古川

仙台商 24－14 佐沼

仙台向山 21－17 仙台東

▼準決勝

仙台育英 23－17 古川工

仙台向山 19－18 仙台商

▼決勝

仙台育英 27（13－4、14－7）11 仙台向山

〈一般女子〉

▼決勝

福祉大 29（19－3、20－2）5 宮教大

〈高校女子〉

▼1回戦

古川女 25－4 泉館山

▼2回戦

聖和 32－5 古川女

仙台女商 32－3 泉松陵

宮二女 22－5 築館女

涌谷 22－5 仙台西

朴沢女 31－4 佐沼

宮三女 29－3 宮城広瀬

宮一女 46－3 名取北

古川商 28－11 塩釜女

▼3回戦

聖和 24－7 仙台女商

涌谷 22－13 宮二女

宮三女 17－14 朴沢女

古川商 24－11 宮一女

▼準決勝

聖和 19－10 涌谷

古川商 18－10 宮三女

▼決勝

聖和 23（11－5、12－8）13 古川商

〈女子総合リーグ〉

福祉大 20－14 古川商

聖和 15－14 宮教大

古川商 18－8 宮教大

聖和 15－11 福祉大

〔順位〕①聖和②福祉大③古川商④宮教大

第39回青森県高校春季選手権

（5月6、7日／三本木高）

〈男子〉

▼1回戦

青森南 25－16 横浜分校

今別 24－12 五所川原

青森 29－9 七戸

青森東 25－7 柏木農

青森山田 11－9 三本木

十和田工 39－2 弘前南

野辺地 34－16 鯵ヶ沢

▼2回戦

青森商 31－14 青森南

青森 19－17 今別

青森東 18－13 青森山田

野辺地 33－14 十和田工

▼準決勝

青森商 39－13 青森

野辺地 16－15 青森東

▼決勝

青森商 31（14－4、17－11）15 野辺地

※青森商は5年連続8回目の優勝

〈女子〉

▼1回戦

青森商 30－6 野辺地工

▼2回戦

青森西 25－10 青森商

三本木 23－5 青森東

今別 12－7 野辺地

青森中央 26－1 七戸

▼準決勝

青森西 24－12 三本木

青森中央 16－11 今別

▼決勝

青森西 18（8－7、10－6）13 青森中央

※青森西は5年連続17回目の優勝

第15回山形県春季選手権

（日程、場所不明）

〈男子〉

▼1回戦

山形工高B 18－14 山形東商

北村山高 28－12 新庄工高

山形航空電子 27－17 矢作会

山形工OB 23－19 山本学園高

東根工高 40－5 寒河江工高

日大山形高 29－20 山形工高A

新球会 40－19 真室川高

▼2回戦

山形大 37－6 山形工高B

山形航空電子 21－17 北村山高

東根工高 35－16 山形工OB

新球会 40－16 日大山形高

▼準決勝

山形大 19－18 山形航空電子

新球会 23－15 東根工高

▼決勝

山形大 21（13－9、8－7）16 新球会

〈女子〉

▼1回戦

山本学園高 15－8 米沢女高

北村山高 25－3 桜華ク

▼準決勝

日大山形高 19－4 山本学園高

山形教員 13－11 北村山高

▼決勝

山形教員 13（7－4、6－3）7 日大山形高

関東

埼玉県高校関東大会二次予選

（4月29、30日、5月6、7、13、14日／草加市スポーツ健康都市記念体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

浦和学院 41－3 熊谷

東農大三 14－11 越谷南

春日部工 27－16 県坂戸

西武台 17－10 埼玉栄

川口北 23－14 上尾東

春日部 16－11 春日部共栄

久喜北陽 31－17 科学技術

浦和市立 18－17 浦和南

浦和実 32－7 所沢北

川越南 19－18 富士見

川口青陵 25－19 羽生一

朝霞西 27－20 筑波大坂戸

川口東 17－15 戸田

伊奈学園 19－11 朝霞

川口工 22－13 三郷工技

大宮南 36－2 秩父

▼2回戦

浦和学院 30－7 東農大三

西武台 19－14 春日部工

川口北 24－13 春日部

浦和市立 31－11 久喜北陽

浦和実 39－8 川越南

川口青陵 26－20 朝霞西

伊奈学園 22－9 川口東

大宮南 25－11 川口工

▼準決勝リーグA

浦和学院 30－8 西武台

浦和学院 23－9 川口北

浦和学院 30－6 浦和市立

西武台 16－14 川口北

西武台 15－14 浦和市立

川口北 18－14 浦和市立

〔順位〕①浦和学院②西武台③川口北④浦和市立

▼準決勝リーグB組

浦和実 14－12 大宮南

浦和実 27－11 伊奈学園

浦和実 29－11 川口青陵

大宮南 14－12 伊奈学園

大宮南 22－17 川口青陵

伊奈学園 21－15 川口青陵

〔順位〕①浦和実②大宮南③伊奈学園④川口青陵

▼決勝リーグ

浦和実 20－12 浦和学院

浦和 17－13 西武台

浦和学院 22－15 大宮南

大宮南 13－11 西武台

※浦和実対大宮南、浦和学院対西武台は準決勝リーグを適用。

〔順位〕①浦和実②浦和学院③大宮南④西武台

〈女子〉

▼1回戦

川口青陵 33－5 越谷南

熊谷女 19－10 庄和

浦和南 37－0 浦和西

羽生一 27－13 春日部共栄

川口北 28－4 宮代

本庄女 12－0 秩父

戸田 17－8 所沢北

八潮 30－5 八潮南

上尾東 16－10 小松原女

春日部東 17－15 朝霞

筑波大坂戸 25－6 行田女

川口女 18－13 浦和学院

伊奈学園 37－8 狭山

秋草学園 26－12 志木

三郷北 15－2 和光

浦和実 28－6 春日部女

▼2回戦

川口青陵 26－9 熊谷女

羽生一 11－10 浦和南

川口北 44－3 本庄女

八潮 35－1 戸田

上尾東 35－5 春日部東

川口女 14－11 筑波大坂戸

伊奈学園 27－14 秋草学園

浦和実 25－9 三郷北

▼準決勝リーグA組

川口青陵 14－12 川口北

川口青陵 22－11 八潮

川口青陵 34－6 羽生一

川口北 18－9 八潮

川口北 22－6 羽生一

八潮 14－14 羽生一

〔順位〕①川口青陵②川口北③八潮④羽生一

▼準決勝リーグB組

浦和実 19－10 上尾東

浦和実 28－19 川口女

浦和実 33－4 伊奈学園

上尾東 19－11 川口女

上尾東 21－13 伊奈学園

川口女 19－15 伊奈学園

〔順位〕①浦和実②上尾東③川口女④伊奈学園

▼決勝リーグ

浦和実 19－13 川口青陵

浦和実 23－9 川口北

川口青陵 18－17 上尾東

川口北 14－10 上尾東

※川口青陵対川口北、浦和実対上尾東は準決勝リーグを適用。

〔順位〕①浦和実②川口青陵③川口北④上尾東

千葉県実業団春季リーグ戦

（日程、場所不明）

▼1部リーグ

コスモ石油 30－20 海自館山

出光千葉 24－22 三井石化

海自下総 35－20 海自館山

三井石化 29－17 日産石化

出光千葉 26－16 海自館山

コスモ石油 22－22 日産石化

海自下総 29－19 三井石化

日産石化 22－20 海自館山
海自下総 26－20 出光千葉
コスモ石油 29－27 三井石化
三井石化 26－21 海自館山
コスモ石油 21－16 出光千葉
海自下総 38－14 日産石化
出光千葉 28－18 日産石化
海自下総 26－17 コスモ石油
〔順位〕①海自下総②コスモ石油③出光千葉④三井石化⑤日産石化⑥海自館山

▼2部リーグ
東京電力 24－15 東京ガス
海自木補所 21－17 東京ガス
海自木補所 30－20 東京電力
〔順位〕①海自木補所②東京電力③東京ガス

▼入替戦
海自木補所 12－0 海自館山
※海自木補所は1部昇格。

第7回千葉県中学校春季大会

（日程、場所不明）

〈男子〉

▼1回戦
妙典 27－5 見明川
福栄 11－10 葛飾
市川 12－7 千城台南
花園 10－9 野田一
逆井 14－3 河原塚
柏南 10－6 富岡
流山南 14－9 草野
東邦 16－2 若松

▼2回戦
妙典 26－4 福栄
花園 9－8 市川
逆井 14－13 柏南
東邦 30－6 流山南

▼準決勝
妙典 21－7 花園
東邦 19－13 逆井

▼決勝
妙典 19－13 東邦

〈女子〉

▼1回戦
昭和 18－4 西志津
市川二 19－3 磯辺二

▼2回戦
花園 13－5 昭和
湖北台 5－2 聖徳
佐原二 15－9 福栄
野田一 11－7 逆井
妙典 13－0 上志津
こて台 14－6 葛飾
若松 11－4 東国分
二宮 11－10 市川二

▼3回戦
花園 30－1 湖北台
野田一 13－11 佐原二
こて台 10－4 妙典
二宮 15－3 若松

▼準決勝
花園 26－4 野田一
二宮 15－5 こて台

▼決勝
花園 13－9 二宮

関東高校茨城県予選

（5月11～13日／岩井高ほか）

〈男子〉

▼1回戦
伊奈 27－10 八郷
土浦日大 30－11 水戸一
鉾田一 27－23 岩井西
藤代紫水 20－19 鹿島灘

▼2回戦
水海道一 18－16 伊奈
麻生 25－9 土浦三
太田一 28－5 勝田
土浦日大 23－13 竜ヶ崎一
笠間 37－13 鉾田一
土浦工 23－19 古河三
江戸川学園 27－17 茨城
岩井 28－11 藤代紫水

▼3回戦
水海道一 24－15 麻生
土浦日大 23－14 太田一
笠間 27－15 土浦工
岩井 21－12 江戸川学園

▼決勝リーグ
水海道一 18－14 土浦日大
土浦日大 21－17 岩井
水海道一 24－14 笠間
土浦日大 28－16 笠間
水海道一 14－14 岩井
岩井 24－11 笠間
〔順位〕①水海道一②土浦日大③岩井④笠間

〈女子〉

▼1回戦
太田二 25－6 水戸二
鉾田一 20－11 八郷
土浦二 19－10 結城二
高萩 14－12 土浦三

▼2回戦
水海道二 25－6 太田二
水海道一 23－16 潮来
聖徳学園 13－11 竜ヶ崎一
鉾田二 28－13 鉾田一
竜ヶ崎二 17－12 土浦二
愛国学園 22－14 岩井
藤代 9－6 日立二
麻生 45－6 高萩

▼3回戦
水海道二 25－8 水海道一
聖徳学園 24－21 鉾田二
愛国学園 14－13 竜ヶ崎二
麻生 28－5 藤代

▼決勝リーグ
水海道二 25－5 愛国学園
愛国学園 14－12 麻生
水海道二 18－12 麻生
愛国学園 25－13 聖徳学園
水海道二 30－11 聖徳学園
麻生 14－14 聖徳学園
〔順位〕①水海道二②愛国学園③麻生④聖徳学園

東海

第43回愛知県高校総体

◎東三河支部予選

（4月29、30日／国府高）

〈男子〉

▼1回戦
豊丘 17－13 新城東
三谷水産 28－17 豊橋東
豊橋工 19－10 豊橋南
桜丘 21－13 豊橋商
豊丘工 26－15 蒲郡
御津 19－12 時習館
豊橋西 15－14 蒲郡東

▼2回戦

国府 25－11 豊丘
豊橋工 18－13 三谷水産
豊川工 21－15 桜丘
豊橋西 30－13 御津

▼準決勝
国府 39－17 豊橋工
豊川工 17－14 豊橋西

▼3位決定戦
豊橋西 34－14 豊橋工

▼決勝
国府 23－11 豊川工

〈女子〉
▼1回戦
宝陵 22－20 豊丘
時習館 16－12 御津
豊橋商 23－8 蒲郡
豊橋東 26－4 新城
新城東 17－8 蒲郡東

▼2回戦
豊橋西 42－13 宝陵
豊橋商 14－12 時習館
国府 27－16 豊橋東
豊橋南 24－8 新城東

▼準決勝
豊橋西 31－20 豊橋商
豊橋南 19－12 国府

▼3位決定戦
国府 17－11 豊橋商

▼決勝
豊橋西 17－16 豊橋南

◎西三河支部予選（4月29、30、5月3日／岡崎商）
〈男子〉
▼1回戦
刈谷工 21－17 一色
碧南 14－12 衣台
岡崎東 14－13 豊田南
岡崎 29－8 豊田工
高浜 16－11 安城
幸田 16－4 吉良
豊田 14－14 三好
3PTC2
豊野 17－2 碧南工
岡崎工 21－20 岡崎西
岡崎北 13－7 刈谷
西尾 24－9 西尾東
安城南 16－8 刈谷北

▼2回戦
岡崎城西 30－2 刈谷工
岡崎東 25－8 碧南
岡崎 24－8 高浜
安城東 17－5 幸田
三河 16－5 豊田
岡崎工 17－9 豊野
岡崎北 21－4 西尾
知立東 12－8 安城東

▼3回戦
岡崎城西 33－7 岡崎東
岡崎 16－7 安城東
岡崎工 14－13 三河
知立東 12－10 岡崎北

▼5～8位決定リーグ
岡崎北 26－12 三河
岡崎北 19－11 安城東
岡崎北 16－13 岡崎東
安城東 16－13 三河
三河 23－9 岡崎東
岡崎東 21－17 安城東

▼決勝リーグ
岡崎城西 36－8 岡崎工
岡崎城西 22－8 岡崎
岡崎城西 31－9 知立東
岡崎工 17－15 岡崎
岡崎工 18－18 知立東
岡崎 16－12 知立東

〈女子〉
▼1回戦
岡崎東 33－1 碧南
知立 9－6 安城南
岡崎北 12－8 豊田東
吉良 15－9 一色
西尾 10－5 幸田
衣台 12－7 高浜
西尾東 17－5 愛教大附
刈谷 13－7 岩津
安城 9－7 豊田
豊野 13－6 安城東

▼2回戦
三好 20－4 岡崎東
岡崎北 20－9 知立
豊田南 25－5 吉良
岡崎 17－4 西尾
刈谷北 15－6 西尾東
岡崎西 25－5 衣台
安城 4－3 刈谷
安城学園 24－7 豊野

▼3回戦
三好 16－7 岡崎北
豊田南 12－9 岡崎
岡崎西 18－11 刈谷北
安城学園 30－1 安城

▼5～8位決定リーグ
刈谷北 12－10 岡崎北
岡崎 10－9 刈谷北
刈谷北 15－5 安城
岡崎北 11－8 岡崎
岡崎北 13－5 安城
岡崎 8－7 安城

▼決勝リーグ
三好 15－14 安城学園
三好 14－7 豊田南
三好 11－8 岡崎西
安城学園 14－13 豊田南
安城学園 20－14 岡崎西
豊田南 11－8 岡崎西

◎知多支部予選（4月29、30日／半田高）
〈男子〉
▼1回戦
阿久比 21－15 武豊
東浦 16－10 常滑北
東海南 18－15 半田工
東海東 17－13 知多
大府 39－7 横須賀

▼2回戦
半田東 27－12 阿久比
東浦 12－11 東海南
知多東 23－3 大府東
半田 24－13 大府

▼準決勝
半田東 13－7 東浦
半田 11－10 知多東

▼3位決定戦
東浦 13－12 知多東

▼決勝
半田東 20－12 半田

〈女子〉
▼1回戦
常滑北 9－3 東海商
東海南 15－7 東浦
半田東 18－6 桃陵
半田商 16－8 内海
阿久比 6－3 知多

大府 10－2 知多東

▼2回戦

半田 19－3 常滑北
半田東 14－7 東海南
半田商 21－3 阿久比
武豊 17－7 大府

▼準決勝

半田 14－11 半田東
半田商 14－9 武豊

▼3位決定戦

武豊 11－7 半田東

▼決勝

半田 21－8 半田商

◎名古屋南支部予選（4月29、30日、5月3日／桜台高）

〈男子〉

▼1回戦

鳴海 19－18 豊明
南陽 36－11 日進
緑 25－15 東郷
向陽 35－6 名商大付
松蔭 27－6 日進西
昭和 31－3 富田
中村 19－16 名古屋大谷
惟信 21－3 同明
星城 20－14 享栄
名城大附 13－12 熱田
天白 不決勝 名市工

▼2回戦

中京 35－8 鳴海
名古屋南 28－18 南陽
緑 18－17 向陽
瑞陵 16－13 松蔭
名南工 18－13 昭和
中村 31－14 惟信
星城 17－16 名城大附
桜台 23－10 天白

▼3回戦

中京 32－14 名古屋南
瑞陵 21－17 緑
名南工 21－12 中村
桜台 24－6 星城

▼準決勝

中京 24－13 瑞陵
桜台 22－8 名南工

▼3位決定戦

瑞陵 26－18 名南工

▼決勝

中京 18－17 桜台

〈女子〉

▼1回戦

瑞陵 17－7 中村
惟信 17－10 高蔵
南陽 18－5 昭和
星城 9－9 名古屋南
2PTC1
名女大 15－14 豊明
鳴海 19－4 熱田
緑 15－11 中川商
日進西 16－12 若宮商

▼2回戦

名短付 40－1 瑞陵
惟信 9－7 向陽
南陽 19－6 松蔭
天白 26－3 星城
桜台 26－8 名女大
鳴海 34－4 日進
緑 25－8 東郷
東海女 30－1 日進西

▼3回戦

名短付 43－1 惟信
天白 14－8 南陽
桜台 15－11 鳴海
東海女 17－4 緑

▼準決勝

名短付 27－7 天白
東海女 23－6 桜台

▼3位決定戦

天白 14－9 桜台

▼決勝

名短付 24－12 東海女

◎名古屋北支部予選

〈男子〉

▼1回戦

春日井 34－20 名古屋西
北 33－8 名学院
守山 15－7 瀬戸西
市工芸 22－18 名大付
高蔵寺 30－12 旭野
山田 22－21 東山工
菊里 37－7 瀬戸北
旭丘 20－17 春日丘
春日井東 不戦勝 東郷
愛知工 26－12 名東
長久手 17－7 明和
春日井南 31－12 栄徳
千種 21－7 春日井工
春日井西 27－15 瀬戸

▼2回戦

東海 25－19 春日井
守山 19－11 北
高蔵寺 26－12 市工芸
菊里 44－8 山田
旭丘 17－16 春日井東
愛知工 19－11 長久手
春日井南 19－16 千種
愛知 32－8 春日井西

▼3回戦

東海 24－12 守山
高蔵寺 21－20 菊里
旭丘 31－7 愛知工
愛知 19－17 春日井南

▼準決勝

東海 22－17 高蔵寺
旭丘 24－16 愛知

▼3位決定戦

愛知 28－14 高蔵寺

▼決勝

東海 24－17 旭丘

〈女子〉

▼1回戦

北 19－6 高蔵寺
春日井東 12－2 名古屋西
春日井商 13－8 瀬戸北
淑徳 16－7 名東
春日井 19－16 瀬戸西
市邨 20－6 春日井南
菊里 9－1 東邦
瀬戸 29－4 長久手

▼2回戦

中京女 25－9 北
椙山 18－16 春日井東
春日井商 15－11 西陵商
愛知商 12－9 淑徳
春日井 24－12 千種
市邨 22－11 名古屋商
旭野 20－7 菊里
緑丘商 30－8 瀬戸

▼3回戦

中京女 34－8 椙山
愛知商 15－10 春日井商
春日井 12－9 市邨
緑丘商 16－8 旭野

▼準決勝
中京女 22−6 愛知商
緑丘商 23−14 春日井
▼3位決定戦
春日井 27−14 愛知商
▼決勝
中京女 17−16 緑丘商

◎尾張支部予選（4月29、30日、5月3日／一宮興道高、一宮商高）

〈男子〉
▼1回戦
佐織工 18−7 尾北
小牧南 20−6 一宮南
蟹江 11−9 一宮北
稲沢東 18−10 弥富
犬山 21−12 岩倉
一宮西 18−12 美和
一宮興道 14−7 小牧工
稲沢 14−11 新川
西春 16−15 五条
丹羽 15−10 一宮工
津島 17−10 平和
尾関学園 16−14 起工
▼2回戦
犬山南 20−9 佐織工
小牧南 20−11 江南
稲沢東 17−16 蟹江
一宮西 19−12 犬山
尾西 7−4 一宮興道
西春 17−9 稲沢
丹羽 14−8 津島
一宮 27−4 尾関学園
▼3回戦
犬山南 15−10 小牧南
一宮西 17−8 稲沢東
尾西 23−11 西春
一宮 11−5 丹羽
▼準決勝
犬山南 17−8 一宮西
一宮 11−8 尾西
▼3位決定戦
尾西 20−17 一宮西
▼決勝
一宮 14−9 犬山南

〈女子〉
▼1回戦
一宮南 12−9 新川
尾北 6−5 一宮北
一宮西 13−4 江南
一宮商 11−10 犬山南
五条 29−2 犬山
西春 26−5 平和
津島女 15−8 古知野
美和 10−7 岩倉
▼2回戦
木曽川 20−5 一宮南
佐屋 19−5 尾北
一宮興道 9−8 一宮西
一宮商 10−5 蟹江
一宮女 16−12 五条
西春 9−8 津島
一宮 17−5 津島女
尾西 31−3 美和
▼3回戦
佐屋 8−2 木曽川
一宮興道 8−3 一宮商
一宮女 12−6 西春
尾西 11−6 一宮
▼準決勝
佐屋 18−9 一宮興道
一宮女 15−14 尾西
▼3位決定戦
尾西 17−16 一宮興道
▼決勝
佐屋 15−10 一宮女

●県大会（5月21、28日、6月4日／岡崎北高）

〈男子〉
▼1回戦
愛知 31−12 名南工
豊橋西 27−20 東浦
瑞陵 15−12 知立東
岡崎 16−11 一宮西
尾西 26−17 半田
高蔵寺 33−25 岡崎工
▼2回戦
岡崎城西 28−11 愛知
一宮 22−16 豊橋西
半田東 20−18 犬山南
東海 19−15 瑞陵
桜台 21−12 岡崎
旭丘 37−13 豊川工
尾西 24−23 国府
中京 26−15 高蔵寺
▼3回戦
岡崎城西 24−9 一宮
東海 19−12 半田東
桜台 18−8 旭丘
中京 21−16 尾西
▼準決勝
岡崎城西 36−16 東海
桜台 19−14 中京
▼決勝リーグ
岡崎城西 25−19 桜台
中京 20−17 東海
岡崎城西 24−19 中京
桜台 23−12 東海
〔順位〕①岡崎城西②桜台③中京④東海

〈女子〉
▼1回戦
尾西 18−15 岡崎西
春日井 24−19 豊橋南
豊田南 17−8 桜台
武豊 17−10 愛知商
緑丘商 23−20 半田商
一宮興道 19−11 国府
▼2回戦
名短付 39−4 尾西
春日井 21−21 半田
3PTC2
佐屋 24−9 安城学園
中京女 19−10 豊田南
天白 18−13 武豊
一宮女 28−14 豊橋西
三好 15−13 緑丘商
東海女 28−4 一宮興道
▼3回戦
名短付 32−7 春日井
中京女 16−10 佐屋
天白 10−9 一宮女
三好 12−9 東海女
▼準決勝
名短付 25−8 中京女
三好 17−9 天白
▼決勝リーグ
名短付 21−5 天白
中京女 8−8 三好
名短付 15−5 三好
中京女 12−12 天白
〔順位〕①名短付②三好③中京女④天白

三重県春季大会

（4月29、30日／四日市四郷高）

〈一般男子〉

▼1回戦

- 鈴鹿高専 27−22 鵜ノ森ク
- 三重教員 25−19 尾鷲軍団
- 本田ク 34−13 四日市中央工ク
- 鳥羽商船 29−15 半田ク

▼2回戦

- 本田技研鈴鹿 43−5 鵜ノ森ク
- 西笹川ク 19−18 三重教員
- 本田ク 20−9 全三重教員

▼準決勝

- 本田技研鈴鹿 46−6 西笹川ク
- 本田ク 28−22 本田爽風会

▼決勝

- 本田技研鈴鹿 35（16−10、19−7）17 本田ク

〈高校男子〉

▼1回戦

- 四日市西 27−10 津西
- 四日市四郷 23−13 名張西
- 海星 15−14 高田
- 上野工 21−19 尾鷲

▼2回戦

- 四日市工 32−8 四日市西
- 桑名西 20−9 桑名工
- 津東 10−8 津
- 四日市四郷 19−17 四日市南
- 亀山 29−6 海星
- 桑名北 17−8 津工
- 桑名 19−8 四日市中央工
- 四日市 36−10 上野工

▼3回戦

- 四日市工 20−15 桑名西
- 津東 13−10 四日市四郷
- 亀山 13−12 桑名北
- 四日市 15−14 桑名

▼準決勝

- 四日市工 18−9 津東
- 亀山 15−8 四日市

▼3位決定戦

- 四日市 15−14 津東

▼決勝

- 四日市 21（11−6、10−9）15 亀山

〈高校女子〉

▼1回戦

- 津 17−14 松阪女
- 桑名西 13−9 尾鷲
- 桑名 10−8 上野
- 四日市西 20−4 四日市
- 亀山 17−7 四日市商
- 四日市南 29−3 津西
- 津東 14−11 名張西

▼2回戦

- 暁 41−0 津
- 桑名 11−10 桑名西
- 亀山 14−7 四日市西
- 津東 13−6 四日市南

▼準決勝

- 暁 25−6 桑名
- 津東 15−10 亀山

▼3位決定戦

- 亀山 13−11 桑名

▼決勝

- 暁 27（9−5、18−1）6 津東

〈中学男子〉

▼1回戦

- 東員第二 18−16 菰野

▼2回戦

- 笹川 10−8 明和
- 西笹川 18−15 四日市南
- 白子 16−6 西朝明
- 亀山 28−5 東員第二

▼準決勝

- 亀山 14−13 笹川
- 西笹川 18−15 白子

▼決勝

- 亀山 19（9−9、10−3）12 西笹川

〈中学女子〉

▼1回戦

- 北勢 12−0 羽津
- 大安 24−6 名張北
- 朝明 13−11 三雲

▼2回戦

- 西朝明 27−3 拓植
- 明和 10−5 阿山
- 西笹川 33−2 亀山中部
- 南 15−7 桔更が丘
- 菰野 27−7 東員第二
- 笹川 17−5 北勢
- 亀山 29−3 大安
- 白子 19−10 朝明

▼3回戦

- 西笹川 15−3 明和
- 笹川 13−5 北勢
- 亀山 18−8 南
- 菰野 16−5 白子

▼準決勝

- 西笹川 6−4 笹川
- 亀山 11−10 菰野

▼決勝

- 亀山 7（3−4、4−2）6 西笹川

近畿

和歌山県春季選手権

（4月29、30日／和歌山商高）

〈一般男子〉

▼1回戦

- 和歌山医大 17−8 市和商ク
- 県和商クB 34−27 和歌山高専

▼2回戦

- 県和商クA 29−13 和歌山ク
- 住友金属 26−15 和歌山医大
- 那賀ク 30−14 桐蔭ク
- 御坊ク 25−12 県和商クB

▼準決勝

- 県和商クA 19−18 住友金属
- 御坊ク 24−10 那賀ク

▼決勝

- 県和商クA 21（9−7、12−7）16 御坊ク

〈高校男子〉

▼1回戦

- 市和商 26−17 笠田
- 新宮 22−17 御坊商工
- 貴志川 19−14 紀北農芸
- 粉河 26−18 箕島
- 耐久 16−16 近大付和歌山
- PTC
- 県和商 22−14 新宮商
- 海南 27−8 桐蔭

▼2回戦

- 那賀 36−6 市和商
- 貴志川 21−12 新宮
- 粉河 31−25 耐久
- 海南 20−12 県和商

▼準決勝
那賀 35－10 貴志川
粉河 22－20 海南

▼決勝
那賀 31（15－9、16－10）19 粉河

〈高校女子〉

▼1回戦
御坊商工 11－9 粉河
県和商 17－7 海南

▼2回戦
那賀 27－12 御坊商工
貴志川 22－7 新宮商
新宮 26－8 箕島
県和商 11－9 笠田

▼準決勝
那賀 24－8 貴志川
新宮 18－12 県和商

▼決勝
新宮 10（6－4、4－3）7 那賀

〈中学校男子〉

▼1回戦
金屋 15－7 有功
近大附和歌山 11－10 打田
岩出第二 20－5 紀伊

▼2回戦
岩出 17－7 那賀
湯浅 11－8 金屋
白馬 30－8 近大附和歌山
貴志川 15－11 岩出第二

▼準決勝
岩出 26－5 湯浅
貴志川 15－13 白馬

▼決勝
岩出 19（11－2、8－3）5 貴志川

〈中学女子〉

▼1回戦
岩出第二 16－7 粉河
打田 12－7 那賀
貴志川 23－7 金屋
岩出 19－8 桃山

▼準決勝
岩出第二 20－2 打田
岩出 18－8 貴志川

▼決勝
岩出 20（11－4、9－9）13 岩出第二

中国

第40回中国高校鳥取県予選

（4月16、17日／倉吉工高）

〈男子〉

▼1回戦
米子北 16－11 倉吉工

▼準決勝
米子東 10－5 境港工
境 22－4 米子北

▼3～5位決定リーグ
境港工 33－7 倉吉工
境港工 14－14 米子北
米子北 20－12 倉吉工

▼決勝
境 17（6－3、11－6）9 米子東

〈順位〉①境②米子東③米子北④境港工

〈女子〉

▼予選リーグAブロック
境 18－7 米子北
境 24－5 米子南
米子北 19－17 米子南

▼予選リーグBブロック
米子東 20－6 米子西
米子東 30－1 倉吉西
米子西 19－17 倉吉西

▼3位決定戦
米子南 24－9 米子西
米子北 12－0 倉吉西

▼決勝
境 17（11－4、6－3）7 米子東

〈順位〉①境②米子東③米子北④米子南商

九州

長崎県高校春季選手権

（4月22、23日／長崎高）

〈男子〉

▼1回戦
日大高 26－7 佐世保北
北陽台 16－15 佐世保西
西彼 21－13 大村
長崎北 23－19 佐世保商
瓊浦 26－11 長崎工
上五島 28－11 西陵
長崎南 13－12 波佐見
口加 23－7 長崎南

▼2回戦
日大高 33－4 西彼
長崎北 22－18 北陽台
瓊浦 27－8 長崎南

▼準決勝
口加 17－11 上五島
日大高 26－11 長崎北
瓊浦 35－5 口加

▼シード決定戦
口加 14－11 長崎北
瓊浦 18（9－6、6－9、1－1、2－1）17 日大高

〈女子〉

▼1回戦
聖和 22－2 佐世保西
佐世保商 20－14 長崎北
佐世保北 19－9 日大高
有馬商 28－2 島原農

▼準決勝
聖和 21－4 佐世保商
佐世保北 15－8 有馬商

▼シード決定戦
有馬商 20－8 佐世保商

▼決勝
佐世保北 12（4－5、6－5、2－1、0－0）11 聖和

第13回鹿児島県春季社会人大会

（4月29、30日／隼人町営体育館）

〈男子〉

▼1回戦
鹿屋体大 35－14 財部クラブ
ベアーズ 28－28 薩南クラブ
鹿児島大 24－21 鹿屋自衛隊

▼2回戦
鹿屋体大 29－19 ソニー国分
第一工大 31－28 指宿クラブ
鹿児島経済大 22－17 ベアーズ
鹿児島クラブ 28－21 鹿児島大

▼準決勝
鹿屋体大 36－28 第一工大
鹿児島クラブ 39－22 鹿児島経済大

▼決勝
鹿屋体大 29（16－12、13－15）28 鹿児島クラブ

※鹿屋体大は初優勝。

〈女子〉

▼決勝
ソニー国分 37（18－11、19－9）20 鹿児島クラブ

ソウルで活躍した、
もうひとつのジャパン。
これが頂点。ソウル・オリンピックの日本選手団に
採用されたスカイハンド®ジャパンα-S
すべてのハンドボーラーが注目していた、ソウルでの日本選手団の活躍。
その鋭い切れ味も、その俊敏な走りも、このシューズから生まれた。スカイハンド®ジャパンα-S。
ハンドボールシューズでは初めて内蔵したαゲルが、ジャンプやシュートなど激しい動きによる足への負担を軽減する。
吸いつくようにグリップするスパイラルソールによって、インドアコートで威力を発揮。
これは、胸をはって履いてほしいシューズだ。
JAPAN
asics
TIGER
SKYHAND α
NEW α GEL
品番 THH 711 品名 スカイハンド® ジャパンα-S
メーカー希望小売価格 ¥14,500 (消費税抜き)
カラー ●ホワイト×Wレッド・マリンブルー ●ホワイト×Wマリンブルー・レッド
サイズ 22.5～29.0cm

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二八七号
昭和四十年六月
第三種郵便物認可
平成一年六月二十六日 印刷
平成一年七月一日 発行
東京都渋谷区 一一一一
電話 代表 二三六一
振替 東京 六─五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)